

国際コミュニティ学部

講義番号	G-1
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	王 偉彬
講義テーマ	文明の視点から読み解く中国の興亡と東アジアの国際関係
内容紹介	中国は一つの文明として、古来より東アジアにおいて大きな存在感を持ってきました。しかし、その歩みは決して平坦なものではありません。統合と分裂、異民族支配、そして近代の半植民地化…。繁栄と衰退が交錯する激動の歴史を歩んできた中国のダイナミックな興亡は、周辺諸国との関係や、現在の東アジア情勢にどのような影響を与えてきたのでしょうか。日々のニュースだけでは見えてこない国際政治の本質を、「文明」というマクロな視点から考えていきます。
必要な機材など	プロジェクター(パワーポイント使用)
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	G-2
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	佐渡 紀子
講義テーマ	核兵器はどこまで規制できたのか
内容紹介	核兵器のもたらす被害が深刻であることは、多くの人が共有する事実です。しかし、国家間関係が緊張状態になると、核兵器を開発したり、核兵器の使用をほのめかしたりする国があることもまた、事実です。核兵器はどこまで規制が進み、何が更なる規制を困難にするのでしょうか。課題を乗り越える知恵はあるのでしょうか。この講義で、核兵器をめぐる近年の動きを通じて、国際社会がどのような性質を持つのかを理解することをねらいにしています。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	第3、第4学期の金曜日午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-3
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	名波 彰子
講義テーマ	Presentation in English - On issues in the 21st Century
内容紹介	この授業では、幾人かのグループに分かれて、1990年代以降の国際問題について、受講生の間で英語でディスカッションをします。その後、その内容について英語でのプレゼンテーション・質疑応答をしてもらいます。評価は受講生の相互評価です。英語を用いて国際問題について話し合い、発表することに挑戦してみましょう。
必要な機材など	黒板、模造紙、セロテープ・マグネット、マジックペン *英語を用いた授業のため、受講生の語学力によっては高校の先生にお手伝いいただく場合がございます。
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

国際コミュニティ学部

講義番号	G-4
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	矢田部 順二
講義テーマ	原爆ドームの履歴書 —交差する広島と世界の現代史—
内容紹介	原爆ドームの前身の建物、広島県物産陳列館が完成したのは1915年。遠くヨーロッパのチェコから来た建築家は、ヨーロッパの建築様式に日本的意匠を融合させました。しかしこの建物は生きた施設としてより、その後、廃墟としての姿を「晒す」ことで世界に平和を訴える役割を担います。この数奇な運命をたどり、現代史における広島と世界の交差を見つめます。
必要な機材など	プロジェクターとスクリーン(パワーポイント使用・動画/音声)
出張講義可能日	応相談(月曜午後など)
オンライン対応可否	可

講義番号	G-5
学科 / 職位	国際政治学科 准教授
講師名	阿曾沼 春菜
講義テーマ	国際紛争を止めるには? ——歴史的事例から考える国際紛争入門——
内容紹介	国際紛争のモデル・ケースを提示して紛争の解決策を受講者に考えてもらいます。その上で、歴史的な事例を引きながら、それぞれの紛争解決手段の利点と限界を解説し、国際紛争を解決するために考慮すべき点を考えます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン(パワーポイント使用)
出張講義可能日	月曜日、第1学期金曜日
オンライン対応可否	可

講義番号	G-6
学科 / 職位	国際政治学科 准教授
講師名	隅田 姿
講義テーマ	世界の教育開発と国際社会の取り組み
内容紹介	世界の教育状況は改善しているのか?もしそうであれば、どの国や地域で、どの程度良くなっているのか?また、国際社会は教育開発のためにどのような取り組みを行ってきたのか?本講座では、データを活用しながら、これらのテーマについてグループで分析・検討していきます。
必要な機材など	プロジェクターとスクリーン(パワーポイント使用・動画/音声を流します)、インターネットに繋がったスマートフォンやタブレット(受講生に調べものをしてもらいます)
出張講義可能日	月曜、木曜午後
オンライン対応可否	可

国際コミュニティ学部

講義番号	G-7
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	澤 俊晴
講義テーマ	選挙の意味
内容紹介	投票に行くことの意味について、(1)団体とは、(2)団体の構成員、(3)団体の代表者、(4)独裁制・寡頭制、(5)民主制、(6)直接民主制と間接民主制の相違、(7)情報の自由な流通が重要、(8)選挙の4原則、(9)合理的投票仮説、(10)義務投票制(強制投票)の功罪といった項目で説明します。 また、環境が許せば、仮定の議題で投票をしてみます。 例) 議題(ゲーム規制、ごみ屋敷)⇒賛否投票⇒意見交換⇒再度賛否投票 意見交換を行うことで情報流通の重要性を認識してもらいます。
必要な機材など	プロジェクター
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-8
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	篠原 新
講義テーマ	戦後日本の政党政治
内容紹介	戦後日本の政党政治は大きく揺れ動いてきました。自民党と社会党の成立、自民党の長期政権、民主党による政権交代などを経て、今はまた自民党政権が続いています。こうした変化の背景には何があるのでしょうか。また、今後の日本政治はどのような変化を遂げていくのでしょうか。こうしたことについてできるだけわかりやすく説明します。
必要な機材など	パソコン、プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	前期水曜日
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-9
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	広本 政幸
講義テーマ	大学生による地域の魅力化
内容紹介	地域を魅力的にしたいと考えている大学生が、地域で活動しています。大学生は、社会人ほど、社会での経験を積んでいるとはいえません。そのため、うまく活動できないことがあるかもしれません。しかし、社会人が思いつかないような、地域を魅力的にするアイデアを出すことがあります。地域の魅力化に関心を持つ大学生が、実際に、どんな活動をしていると思いますか。皆さんよりも少し年上の大学生が行う地域魅力化の活動を知って、自分もやってみたいと思うことを、みつけてみませんか。
必要な機材など	パソコンのモニターを映写するプロジェクターとスクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

国際コミュニティ学部

講義番号	G-10
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	三浦 浩之
講義テーマ	社会の困りごとを無くす、個人の挑戦とは
内容紹介	地域の社会課題を解決し、社会により変化(社会的インパクト)を生み出すために、個人として何ができるでしょうか？ひとつの答えが、ソーシャル・アントレプレナーとなることです。これは、「社会のために働きたい」という価値観を持つ若者にとって、非常に魅力的なキャリアの選択肢です。これについて考えてみてもらいます。
必要な機材など	プロジェクターあるいはディスプレイ（希望はHDMIによる接続。音声を流すことがあります）、受講生にスマートフォンやタブレット(インターネットアクセス必要)
出張講義可能日	月曜日午前 木曜日午前 金曜日午後(要相談)
オンライン対応可否	可

講義番号	G-11
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	山中 雄次
講義テーマ	指定管理者制度の仕組みと運用
内容紹介	地方自治体が設置する公共施設(スポーツ施設、図書館、公民館など)の多くは、民間企業等が現場の運営を任めています。この根拠となる「指定管理者制度」について、基本的なルールや課題を説明します。皆さんの身近な施設について、深く理解するきっかけとしてください。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	水曜日午後
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-12
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	木原 一郎
講義テーマ	グローバルな人材への第一歩
内容紹介	グローバルはグローバルとローカルを合わせた造語です。課題先進国である日本の社会においては、グローバルな人材が必要ではないかと考えます。なぜグローバルな人材が必要か、そしてどうやったらグローバルな人材になれるかを一緒に考えてみましょう。そして早速実践しましょう。
必要な機材など	プロジェクター
出張講義可能日	前期 火曜日午後、後期 金曜日午前 (2026年度前期は対応不可)
オンライン対応可否	可

国際コミュニティ学部

講義番号	G-13
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	小須田 翔
講義テーマ	政治を哲学する
内容紹介	私たちは、誰もが自由で等しい価値を持つものとして生まれています。そんな私たちが持つべき社会のルールとはどのようなものでしょうか。政治哲学は、現実から一度距離を取って、理想的な社会のルールを考える学問です。そうすることで現実社会を見つめ直すための視点を得ます。講義では、自由で平等な人々が契約を結ぶとしたらどのような社会のルールを選ぶかを考える思考実験をします。
必要な機材など	プロジェクターまたはスクリーン
出張講義可能日	火曜日午後、水曜日、金曜日午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-14
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	矢野 秀徳
講義テーマ	「底抜け社会」ニッポン
内容紹介	日本は名目GDPでは世界3位の経済大国であると同時に、先進国ではアメリカに次いで第2位の貧困大国でもあります。生活を支える安全網(いわゆるセーフティネット)の機能不全も相まって、現代日本はいったん転落すると止まらない「底抜け社会」となっています。その原因は何で、どのような解決策が必要かを論じます。
必要な機材など	パソコン、プロジェクター(あるいはスクリーン)
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-15
学科 / 職位	国際コミュニティ学部 教授
講師名	TOWNSEND, Jana M.
講義テーマ	What is ELF: English as a Lingua Franca?
内容紹介	It is said that there are now more than 1 billion English speakers in the world, and that the majority of them have a first language other than English. How can we learn to communicate well in English with people from different language and cultural backgrounds? This interactive lesson offers some key points to think about as you study and use English in your high school years. (Easier English and some Japanese, if necessary, will be used.)
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード又は黒板
出張講義可能日	後期水曜日午後(第2水曜日を除く)
オンライン対応可否	

国際コミュニティ学部

講義番号	G-16
学科 / 職位	国際コミュニティ学部 教授
講師名	HOY, Keith C.
講義テーマ	You, Japan and the World: Exploring your Global Community in English
内容紹介	This lesson focuses on getting students to actively use the communicative English skills they already possess to know more about themselves, their community, Japan and the rest of the world. In order to do this, students will engage in a number of speaking and listening activities involving pair and group work. These activities are designed to give students the confidence to effectively communicate with other speakers of English throughout the globe..
必要な機材など	プロジェクターとスクリーン、ホワイトボード
出張講義可能日	第3学期火曜午後
オンライン対応可否	不可